

令和4年度事業計画書

1、定款に規定する事業に則り次の事項を行う

公1-1 都市防災・美化に関する調査・研究

(1) テーマ① (創立70周年記念事業)

「都市における防災・美化の変遷(Ⅱ)」
一樹木の防災効果、公園緑地・防災行政年表、集大成一

テーマ② 「東京都の公園緑地の歴史探訪」

(2) 調査・研究の背景と目的

○ 創立70周年記念事業として都市における防災美化の変遷に関する調査・研究報告書を令和4年2月報告書を発刊した。しかしコロナ禍の諸般の制約のため、公園緑地・防災行政年表、平成28年から令和2年までの調査・研究報告書の集大成などは未完で終わった。そこで続編として「樹木の防災効果」論文も加えて今年度の調査・研究とした。年表などは前年度研究の補完資料である。

時代の経緯とともに忘れ去られているが、公園の樹木の伐採が今日的な課題としてあるとき、改めて樹木の防災効果を理解する必要がある。公園管理の課題解決の一助になることを目的とする。

○ 公園緑地の歴史探訪は、東京都の公園美化地域の歴史を探り、人々が集い、楽しみ、人気を集めた要因などを理解し、美化(公園・樹木・水と緑・豊かな都市など)のあり方と、有効活用の促進を目的とする。

○ 都市のグレーインフラからグリーンインフラへの転換言われる中、相変わらず公園内にコンクリート構築物が計画され、樹木の伐採が懸念されている。土地余力ない都心部での公園内への構築物の増加は、市民ニーズのもとに正当化されようが、どこかで歯止めをかけなければ緑地への浸食が将来に禍根を残すことになる。70周年記念事業では公園・緑地の歴史を追いながら、人々の大切なものとして、緑地・樹木・草花の価値を考え、公園のあり方の参考となることを目的とする、

(3) 調査・研究の内容及び方法

(1) 内容

テーマ① ・緑園の防災効果 ・緑地行政と防災行政の変遷を年表としてまとめる
・過去5年間の調査研究報告書の集大成

テーマ② ・東京都の公園緑地の歴史的背景ほか

(2) 方法

主に都市における防災・美化に関するこれまで発表された研究論文を中心に、必要と考える調査・研究論文等を加える。これまでの当協会の調査・研究論文および当協会に係りある人々の論文エッセイ等を中心に考えている。

(4) (公財)都市防災美化協会に調査・研究委員会を設置し、調査・研究を推進する。

① 調査・研究委員会の構成

(委員は50音順に表示)

< 統括 >	・中島 宏	公益財団法人都市防災美化協会 理事長
< 委員長 >	・藤井英二郎	公益財団法人都市防災美化協会 理事 千葉大学名誉教授
< 委員 >	・岩澤一正	公益財団法人都市防災美化協会 理事
	・清水政雄	公益財団法人都市防災美化協会 理事
	・轟貞幸	公益財団法人都市防災美化協会 理事
	・西口敏之	公益財団法人都市防災美化協会 常務理事

- ・和田幸子 公益財団法人都市防災美化協会
- <事務局> ・西口敏之 公益財団法人都市防災美化協会 常務理事
- ・和田幸子 公益財団法人都市防災美化協会

その他必要に応じて防災、都市計画、環境等の専門家からメンバーの追加を行う

- ② 調査・研究委員会の運営
 - 「調査・研究委員会」は3回実施
 - 第1回委員会(令和4年5月頃)
 - 第2回委員会(令和4年10月頃)
 - 第3回委員会(令和5年2月頃)

(5) 調査・研究期間

令和4年4月より令和5年2月までとする

(6) 業務委託契約の内容

① 業務委託契約の種類及び名称

「都市における防災・美化の変遷(Ⅱ)」及び「東京都の公園緑地の歴史探訪」に係る論文等の調査・原稿依頼契約

- ② 業務委託期間 令和4年4月から令和5年2月までの間。個別契約によって異なる
- ③ 委託料 (全体) 金 500,000円(消費税含む)
- ④ 委託先 当協会に係わってきた有識者など

(7) 調査・研究報告書の体裁 A4判 100~200ページ

公1-2 都市防災・美化に関する図書・印刷物の発行

- (1) ① 不特定多数の都民が当協会の行う調査・研究の成果品を活用することによって、防災・美化対策の一助になるよう出版する
- ② 国や地方公共団体の防災、環境の保全、保護及び整備等の担当者、関係者及び大学等の研究者に役立てて頂くよう出版する

(2) 出版物 (70周年記念事業)

「都市における防災・美化の変遷(Ⅱ)」
一 樹木の防災効果、公園緑地・防災行政年表、集大成一

(3) 出版部数 600部程度

公1-3 都市防災・美化に関する普及・啓発

- (1) 都民及び団体等への都市防災・美化に関する普及・啓発活動の一環として都市防災・美化に関わる大学の研究者、行政、研究機関及び図書館等に出版物を無償頒布する
- (2) 当協会の出版物を活用して、防災・美化対策に関連する講演会、協議会等で公表したり、シンポジウム・セミナーを開催する等によって普及・啓発を図る。
但し、コロナ下でもあり、人々が参集するセミナー等の開催は状況を考慮して検討する